



絵本の公園



ひまわり号と共に

私達は、旭が丘地区センターの集会室で、移動図書館「ひまわり号」と一緒に活動しています。旭が丘地区センターは、旭が丘中央公園の広い芝生の傍にあります。「ひまわり号」も地区センターのそばで貸し出しをしています。

集会室は、併設する光の家のカフェ・コーナーの奥にあります。ここに図書館の方が選んでくださった、絵本や大きい絵本、紙芝居で絵本コーナーを作っています。

訪れてくれるのは、公園に遊びに来る0歳から入園前の2～3歳児ですが、時には園外保育中の2～5歳の園児や、夏休みなどには小学生の来訪もあります。

活動は「ひまわり号」の巡回日、第2第4水曜日、10時から12時の2時間、いつでも絵本の読み聞かせが出来るように準備しています。

活動内容は準備した絵本のほか、リクエストされた絵本や紙芝居を読むこともありますし、隣に座って1対1で読むこともあります。今は大きな本の『ぴょーん』と『だるまさんが』のシリーズ、歌も交えながらの『はらぺこあおむし』が人気です。

飽きないような工夫もしています。親子で楽しめる、絵本のわらべ歌や手袋人形を使った手遊びで体を動かし、コロナの時のスクリーンを舞台にしたマペットで詩などを紹介しています。

2週間毎に会える子どもたちの成長が身近に見られるのも、私達の楽しみの一つです。子どもたちに初めて言葉が出て、単語が文になり、会話が出来るようになった時の感動は、いつまでも心に残ります。

公園の中にあるので、お天気に左右されることも多く、訪ねる方の無い日もあります。そんな時は、私達の勉強会に切り替えて、絵本やおはなしの練習を重ねています。

これからも地域の子どもたちに寄り添い、絵本に親しんでもらえるよう、楽しみながら「ひまわり号」と共に、長く続けていきたいと思います。

なお、旭が丘地区センターには、都立大学の学生さん製作の本棚に、ちいさな図書コーナーが併設されていて、いつでも閲覧できます。

